



市内事業所の  
個性豊かな社長さんや  
店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。  
いつかあなたにも繋がるかも？

いいともバトン：No.19 登場の田澤 誠さん ➡ 渡邊とし子さん



左から 渡邊とし子さん、小柳セツ子さん、藤田里枝さん

### いいとも No.20

「侑村将軍」(穀町) 渡邊とし子さんの「とものわ」は、「株丸三包装」(下条) 社長 小柳セツ子さん。お二人は村将軍の前身となる洋風スナック居酒屋を営業していた頃からの長いお付き合いです。明るくフレンドリーなお二人は、すぐに気楽に何でも話せる間柄になりました。今でも渡邊さんは、店に必要な消耗品のほとんどを小柳さんに相談しているとのこと。村将軍を始めいくつもの店を家族で切り盛りしている渡邊家。長女の里枝さんを小学生の頃から見てきた小柳さんは「がんばっているね」と見守るようにあたたかく話されていました。笑顔のとても素敵な加茂美人の皆さんです。



加茂信用金庫  
理事長 阿部 貴行

最近、スルガ銀行などの融資資料改ざんによる不正融資問題が報道されていますが、その原因は過剰なノルマが原因と言われています。スルガ銀行は地銀の中でも突出した高い収益率で知られ、地銀のビジネスモデル改革と言われています。しかし、その収益率

を達成するために、過剰なノルマや不適切融資の黙認など「無理」を重ねてきた実態が明らかになりました。過剰なノルマは、結果的には職員を疲弊させ、最終的に不正や不祥事件に繋がります。当金庫も、過去に異常な目標や指示で、職員が元気をなくした時期があったので、規模は違いますが今回の不正事件の原因がわかるよ



うな気がします。5年前から職員の自主性に任せることになりました。営業店の目標も本部と営業店で話し合っ決めていきます。交渉事も部店長に「あなたに任せるから」とある程度決定権を与えて、お客様と交渉させるようにしたところ、自らお客様や当庫のことなど総合的に考えて、

責任感を持って交渉に当たるようになり、こちらの期待した以上の結果を出すことも多くなりました。また、自主性を持ったことで職員全体が明るくなり風通しも良くなり会議なども活発化してきました。この厳しい環境で経営を行うには、職員の皆さんは人財です。大切にしなければなりません。お客様とは「Face to Face」時には「Mouth to Mouth」の熱い思いで関係を強化したいと思えますので、今後よろしくお願いたします。